

消防訓練通知書

消防訓練通知書の記入のしかた

(1) 年 月 日			
十日町地域広域事務組合消防長 様			
(2) 防火管理者 職 ・ 氏名			
消防計画に基づく消火訓練及び避難訓練を実施するので、消防法施行規則第3条第11項の規定により、次のとおり通知します。			
訓練日時	(3) 年 月 日	時 分 ~	時 分
事業所名称	(4)	用途	(5)
事業所所在地	(6)	TEL ()	
参加人員	(7) 名	担当者(職・氏名)	(8)
消防職員派遣の要否	(9) 要 ・ 否 (要にあつては、実施日等について、事前に打ち合わせすること。)		
訓練内容	(10) 1 消火訓練 2 避難訓練 3 通報訓練 4 その他の訓練 ()		
(11) 訓練概要 (具体的に記入すること)			
※ 受付欄		※ 経過欄	

(1) 年月日	提出年月日を記入する。
(2) 届出者	防火管理者の職名、氏名を記入する。
(3) 訓練日時	当該訓練を実施する日、時間を記入する。
(4) 事業所名称	当該事業所の所在地を記入する。
(5) 用途	当該建物の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途区分により「遊技場」「店舗」「ホテル」「病院」「学校」「事務所」「複合用途(店舗・共同住宅)」などの要領で記入する。
(6) 事業所所在地	当該事業所の所在地、代表電話番号を記入する。
(7) 参加人員	当該訓練当日に参加が予定される人員。
(8) 担当者	当該訓練を担当する者の職、氏名を記入する。
(9) 職員派遣の要否	当該訓練において、消防職員の指導等の要否について記入する。 なお、職員を要請する場合は、事前に実施日、実施時間の打ち合わせをお願いします。
(10) 訓練内容	消火訓練、避難訓練は必ず実施し、その他に実施を予定する訓練を記入する。
(11) 訓練概要	具体的に記入する。 ・訓練想定(出火場所、逃げ遅れの有無) ・使用機材など 《例》 「〇月〇日〇時〇〇分ごろ、1階〇〇室から火災が発生し、1階に逃げ遅れた者がいる。」という想定に基づき、119番通報、館内非常放送、初期消火、避難誘導を実施する。 自動火災報知設備のベルが鳴り、受信機で火元を確認、現場へ急行し火災を確認する。大声で「火事だー」と叫び周囲に知らせると同時に近くの消火器で初期消火を試すが失敗。 火災の知らせを聞いた者は消防署へ通報し、その後、建物内にいるお客さんへ火災が発生したことを館内放送にて知らせる。 お客様に大きな声で避難の指示をし、安全な場所まで避難誘導した後、人員を確認、自衛消防隊長へ報告する。 報告を受けた自衛消防隊長は、到着した消防隊へ逃げ遅れ、出火箇所を伝える。 〇〇設備から消火器の取扱い方法を学び、訓練用消火器を使用した初期消火訓練を実施する。

- 備考 1 訓練内容及び消防職員派遣の要否欄については、該当するものを○で囲むこと。
2 訓練計画書がある場合は、添付すること。
3 ※印の欄は記入しないこと。